

はじめに

各種アワードについては、カードが必要である場合等については、データベースに無い部分やすでに他のExcelなどを使って管理している場合、特別なツールが有る場合など個々に異なっています。

その為、完全に網羅することが出来ませんが、少しでも役に立つようにと作業の補助として作成をしています。

希望するフォームなどが有りましたらそのフォーマットの画像などを添付してお送りください。

これから管理を開始する場合等が有りましたら協力していただきながら一緒に作成していきたいと思えます。

要望等をお寄せください。

カードや申請した局とリンクさせる必要が有る場合がおおくあり、この場合は業務日誌の「申請」欄を活用しながら作成していきます。

その作業負担等を軽減する方法を検討していきますのでアイデアをいただきたいと思えます。



# 全世界一万局申請 P2

## ★ 利用方法 ★

### 1 対象データの作成

「① 申請欄マーク付け[読売(DX)]再抽出

- ・「全世界一万局.TXT」へ出力
- ・カードの受領欄が「R」以外、  
LOTW受領は無視し、あくまでカードの有るものです。
- ・同一局の最新の交信データのみ抽出  
(実施の都度最新の「R」受領局に切り替わります。)
- ・1952年より以前のは未抽出
- ・クロスバンド交信、人工衛星経由、自局のコールエリア外交信、相手が陸上以外での交信については手作業で除く必要が有ります。
- ・申請欄が「NOT\_全世界一万局」と記載してください。  
これら条件で「申請欄」には「全世界一万局」と記載されます。

### 2 「② 「全世界一万局」登録データ表示」

「全世界一万局」と記載されたデータを再抽出表示します。

### 3 「③ 申請 記録削除」すべてを削除

申請欄が「読売(DX)」と記載されたものを削除します。  
1万局を処理する場合は数分間の時間がかかります。

作業を中止したり、再度、やり直す場合に使用します。  
申請欄の「読売(DX)」の模試のみを削除します。

次にこのリストに基づきQSLカードを整理します。  
カードが無い場合等で申請できないデータについては、申請欄に「Not全世界一万局」と変更記入します。  
申請できないカードに代わる新たなデータがあれば追加します。  
その追加(更新)するデータの「申請欄」に「全世界一万局」と書き込みます。

### 4 「④ 申請済 記録変更」(検討中)

④を実施すると「全世界一万局」の文字を「読売済(DX)」に変更します。  
これは、次の申請に重複して使用しないようにするためのものです。

### 6 その他のデータ確認方法

これのほか、メイン画面の申請欄にて各種検索・修正が出来ます。  
また、複合検索にて作業が出来ます。

## ★ 注意 : 次の内容は個別確認を行う必要があります。

規定書補足の内容

- ・ 交信無効の国と期間  
作成可能ですが、この処理に時間がかかり手間であることとそのような交信はないとの判断です。
- ・ 特記事項の判別(必要な場合はレポートください)

## ★ 要望により申請できるものに改善を図っていきます。

当方も何が必要なのか不明です。

そのため現在は抽出関係を中心に適当に作成しています。  
申請する方と一緒に必要な書類つくりを行っていきたいと思いますのでご協力を願います。  
現実申請する方はどのような処理が必要であるかレポート願います。  
様式を指定していただければその内容を作成していきます。





# WASA-HF P-3/4 (補足説明)

## その他のオプション設定:

### ★ 検索時の処理、

- =自己満足や直接「WASAHF.TXT」を編集して事前に入力しておきたい方向け
- レ=カード受領時にのみ直接g lを書き込む方向け

### ★ Q s lカード受領時、

- =カード受領時にすでにG Lが登録されている場合に「WASAHF.TXT」へ書き込むかの問い合わせが有ります。
  - レ=カード受領時に自分で確認して業務日誌に書き込む必要が有ります。
- また、「WASAHF.TXT」抽出作業も必要になります。

- 検索時にテルネットからGL取り込みの有無を設定、レ=取り込まない、□=取り込む
- QSLカード受領時に「WASAHF.TXT」へ取り込み管理設定、レ=未実施、□=実施

ピックアップ

ピックアップをテキストへ書き込み  
保存ファイル名(下記標準:変更可)  
WASAHF.TXT

- ★ **ピックアップ** : カード受領で新たな対象データ(「GL」と「周波数」)が有る場合に抽出します。新たに追加されたデータの後に追加分が表示されますのでソート書込み前に最終データを確認して管理記号を書き込むと検索なくチェック記号(管理記号)の書込みが出来ます。
- ★ **ピックアップをテキストへ書き込み** : ピックアップしたデータを再ソートします。ソート実施を行以下テキストボックスの名前でテキストファイルへ書き込みます。マスターファイルは「WASAHF.TXT」として保存してください。(メイン画面での検索等に使用されます。)

★重要★ ⇒ 「抽出状態」や「星取表」表示状態での「WASAHF.TXT」名での書き込み不可。データが消えてしまいます。

GL別、周波数別星取表を作成します。

Checkの有無による表示方法の違い

レ=Tのみ表示、□=全表示  
抽出記号  CG44, , , , , T, T, T  
CG55, , , , , T, T, T, T, T

日常管理用にプリントしておけばチェックが容易になります。

レ=Tのみ表示、□=全表示  
抽出記号  AH50, CW , ZK2C , CW , ZK2C , CW , ZK2ZY , CI  
抽出記号  A140 , 2012/02/09 , 2012/02/08 , 2003/10/22 ,

提出管理 : 抽出記号の内容を表示します。(「A」「B」、「100」「200」)

記号により抽出後、提出管理で出力すれば提出用に使用できます。

GL別、周波数別星取表を作成します。

レ=Tのみ表示、□=全表示  
抽出記号   
提出管理: WASAHF.TXT表示

AG29, A3110 , 10. , CW , 2012/01/19  
AG29, A35YZ , 10. , CW , 2012/03/10  
AG29, A35YZ , 14. , RTTY, 2012/03/13  
AG29, A35YZ , 18. , SSB, 2012/03/09  
AG29, A35YZ , 21. , CW , 2012/03/12  
AG29, A35YZ , 24. , CW , 2012/03/12  
AG29, A35YZ , 28. , RTTY, 2012/03/15  
AH16, FWNAR , 7. , RTTY, 2012/01/29  
AH16, FWNAR , 10. , CW , 2012/02/02

この位置に記号

記号の記入は4桁以内で記入します。  
A・B・C・・・、100・200・300・・・等  
記号気に優後は

表示内容保存 WASACOPY.TXT

一覧に表示されてる状況をテキストボックスに記入の名前で保存します。  
検索後に提出データとして作成します。必要に応じてエクセルに取り込み加工後に提出してください。

「WASAHF.TXT」を作業前に必ずUSB等、別のデバイスに保存を行っておいください。  
テキストファイルはデータベースと異なりミスの修正等が出来ない等不安定です。

### B G A L O Gで新規に管理する例

- 1 「ピックアップ」を実施します。 (すでにテストで作成している場合は「WASA.TXT」を削除しておきます。)
- 2 「ピックアップをテキストへ書込み」を実施します。 (これでソートされた「WASA.TXT」が作成されます。)
- 3 管理記号「A・B・C・D・・・or 100、200、300・・・等」の記号を「WASA.TXT」へかきこみます。
- 4 2の「ピックアップをテキストへ書込み」を実施します。  
これでマスターの「WASA.TXT」が作成されます。

これは重要なファイルとなりますので、今後、作業開始前・後に別のデバイスにコピー保存しておいてください。  
新たにマスター「WASA.TXT」を修正した場合も同様に別にコピー保存してください。(操作ミス時に復帰できます。)  
以上でB G A L O G内の処理は終了ですのでマニュアルに沿って運用してみてください。

次の様にG L欄に記載しマウスを持っていくと「R I 3 2」登録の局が日常でも管理表示できます。



例として使用したマスター「WASA.TXT」の内容

```

RI31, C21SX      , 28. , CW , 2005/09/28, A
RI39, C21GC     , 3.5, CW , 2014/10/06, A
RI39, C21GC     , 7. , CW , 2014/09/30, A
RI39, C21GC     , 10. , CW , 2014/10/01, A
RI39, C21GC     , 14. , CW , 2014/10/08, A
RI39, C21GC     , 18. , CW , 2014/09/30, A
RI39, C21GC     , 21. , CW , 2014/10/01, A
RI39, C21GC     , 24. , CW , 2014/09/29, A
RI39, C21UF     , 28. , PSK , 2011/10/19, A
RI91, T2XG      , 21. , RTTY, 2011/05/21, A
    
```

この記号により提出時期管理、新規データ分抽出管理などが行えます。  
初回提出をから順に「A」・・・「E」としておき、次の提出予備を「F」などとしておくと「F」で検索してそのデータを提出することが出来ます。

星取表を次の様に印刷しておくとも日常のペーパーベースでも管理できます。

見にくい場合は、エクセルに取り込み列を周波数別に色を変化させておけば周波数の判定が容易となります。

```

RI20, , , , T, T, , T, ,
RI31, , T, , , , , , T
RI39, , T, T, T, T, T, T, T, T
RI91, , , , , , , T, T, T
    
```